

エコミュージアム(仮)調査案

2021/09/24

WASEDA UNIVERSITY



調査内容

エコミュージアムの目的

- アクターの価値を認識し、連携の可能性を探ると共にデザインする。
- アクターのつながりを継続的に創出する
(浜通りに住人、外に生活拠点を設けた人も、地域外の人など)。
- アクターが対話を通じて地域課題を意識化する。
- 結果として、浜通り全体が仮想的なコミュニティ、アーカイブになる。

調査の内容

- アクターの詳細を知り、統合を検討する材料を整理する
- アクター間の「つながり」の可能性と課題を探索する。
- 各アクターは、どのような他アクターとつながりたいのか？
(あるいは、すでに成立しているつながりは？)
- 各アクターは、どのような問題によって他アクターとつながれずにいるのか？
- アクターネットワークがあることで生じる新しい価値とは？

アクター

- 博物館、ミュージアム
- 地域拠点、活動
- 景観、記念碑...

人は上記に付属でいいか

調査のプロセス

- 調査票（カルテ）を作成、複数施設の訪問者が相対評価（高校生の参加）をする。
- 以下の評価軸を元に、施設の性格をレーザーチャートで示す。
- コアのあり方、サテライトのあり方、トレイルのあり方を検討し、その設計、活用を考える。

ホープツーリズム

ホープツーリズム

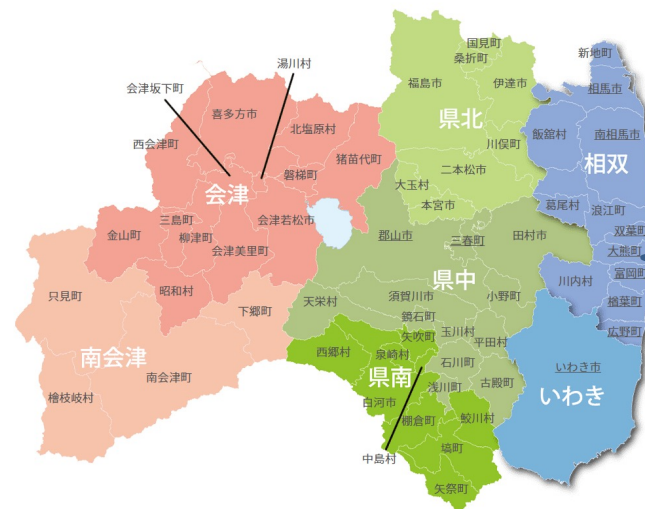
<https://www.hopetourism.jp/>
公財) 福島県観光物産交流協会



15カテゴリー

- ☐ 震災・原発事故、復興の全体像
- ☐ 原発事故の影響
- ☐ 津波被害
- ☐ 避難指示解除後の地域
- ☐ 帰還困難区域
- ☐ 環境回復・除染・中間貯蔵等
- ☐ 原発・廃炉
- ☐ エネルギー
- ☐ 農林水産業
- ☐ 新産業(イノベーション・コースト構想)*
- ☐ 防災・減災
- ☐ 教育・人材育成
- ☐ 同世代交流
- ☐ 観光・交流
- ☐ その他

浜通り中心の14施設



イノベ機構視察ツアー

ツアー行程表

1日目
12月9日(水)

10:30集合・出発

JRいわき駅(いわき市) <貸切バス>

||

①燃料電池バスSORA(いわき市)

【視察・体験】燃料電池バス乗車体験

||

源太ずし 本店(いわき市) 【昼食】

||

②(株)東日本計算センター

ながとイノベーションセンター(いわき市)

【視察・体験】トイドローン操縦体験

||

③JAEA楡葉遠隔技術開発センター(楡葉町)

【視察・体験】ロボット操作体験

||

17:40到着

ホテル蓬人館(富岡町)

【宿泊】地域関係者との懇談

朝食	昼食	夕食
×	○	○



2日目
12月10日(木)

8:30出発

ホテル蓬人館

||

④東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町) 【見学】

||

⑤浜の駅 松川浦(相馬市) 【見学】

||

松川浦 亀屋旅館(相馬市)

【昼食】復興チャレンジグルメ

||

⑥福島ロボットテストフィールド(南相馬市)

【視察・体験】プログラミング体験

||

菊池製作所 南相馬工場(南相馬市)

【視察・体験】マッスルスーツ体験

||

16:40解散

JR原ノ町駅(南相馬市)

朝食	昼食	夕食
○	○	×



①燃料電池バスSORA

新常磐交通が東北で初めて導入した燃料電池バス。トヨタ自動車製で、燃料の水素と、空気中の酸素の化学反応で発電した電気が動力。二酸化炭素(CO₂)などを排出せず環境に優しく、走行音が非常に静かな点も特徴です。ツアーでは実際に乗車し、「環境」と「ひと」にやさしいバスを体感してください。

②(株)東日本計算センター

ながとイノベーションセンター

(株)東日本計算センターが、廃校となっていたいわき市三和町の旧永戸小学校を活用して、小型無人航空機(ドローン)やIoTなどの次世代技術の研究開発・実証実験を行う施設です。ツアーでは、研究開発の現場視察やトイドローンの操縦体験をします。

③JAEA楡葉遠隔技術開発センター

福島第一原子力発電所の廃炉推進のために遠隔操作ロボット等の開発実証施設として整備されました。施設・設備は廃炉に限らず幅広い利用が可能で、遠隔技術開発の拠点を目指しています。ツアーでは、VRシステム体験やロボット操作の体験をします。

④東日本大震災・原子力災害伝承館

2011年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力災害の記録と記憶を国や世代を超えて伝えつつ、復興に向けて力強く進む福島県の姿と国内外からの支援に感謝の思いを発信する施設です。

⑤浜の駅 松川浦

東日本大震災の津波で壊れた海産物直売所の後継施設として整備された復興市民市場。相馬沖産の水産物や地元農産物、加工品や土産品の販売コーナーと、地元食材を使ったメニューを提供する食堂を設けています。

⑥福島ロボットテストフィールド

福島イノベーション・コースト構想に基づき整備された、陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点です。インフラや災害現場など実際の使用環境を再現しており、ロボットの性能評価や操縦訓練等ができる、世界に類を見ない施設です。ツアーでは、(株)リビングロボットによるプログラミング体験や菊池製作所のマッスルスーツ体験を行います。

イノベ機構視察ツアー

<https://www.fipo.or.jp/news/12163>

伝承館とイノベ関連の
技術開発を見学するツアー

311伝承ロード推進機構

「なりわいの再生」

東日本大震災と原発事故の二つの大きな災害と事故に遭遇したにもかかわらず、被災地では除染を進め、なりわいの再生に向けた復興が始まっている。その実情と教訓を理解し、被災地の未来を知る。

留意事項

- ・定員10～20名
- ・宿泊及びバスの移動は旅行代理店が手配

対象地域: 福島県沿岸部

研修領域: 産業創成、放射線と除染、復興公園、避難行動、震災遺構

1日目

郡山駅

コミュタン福島

震災遺構
請戸小学校

東日本大震災・
原子力災害
伝承館

Jビレッジ
(宿泊)

2日目

Jビレッジ

イノベーション
コースト構想
(座学)

福島ロボットテ
ストフィールド
見学

相馬市伝承鎮
魂祈念館

福島駅

【研修内容】

- 津波被害と原子力災害の実情を知る。
- 放射線と除染の正しい知識を得る。
- 産業の創出に取り組む「イノベーションコースト構想」を学ぶ。
- 請戸小学校における震災当時の避難行動を知る。
- 福島沿岸部の津波被害を知る。

【学びの特色】

- 震災と原発災害の二つの大きな災害に見舞われた福島県沿岸部を中心エリアとして、震災と原発災害からの復旧・復興として、イノベーションコースト構想をもとに「なりわいの再生」に取り組む状況を学ぶ。
- 津波被害とその避難行動を学ぶ。また園を視察する。



Jビレッジ



震災遺構 請戸小学校



東日本大震災・原子力災害伝承館

311伝承ロード推進機構

<https://www.311densho.or.jp/>

国土交通省



Info	3.11 Densho Road	Introduction	Tour	Archive	Movie
------	------------------	--------------	------	---------	-------

映像アーカイブ事業認定作品

登録第1号認定作品 (6:42)

タイトル: 「第二の水素爆発を防げ」
認定作品会社名: 大成ロテック株式会社



登録第2号認定作品 (10:12)

タイトル: 「地元を守れ!」
認定作品会社名: 株式会社武山興業



プロモーションムービー/Promotion Movie

Kataribe on the 3.11 DENSHO ROAD

語り部編 (2:00)

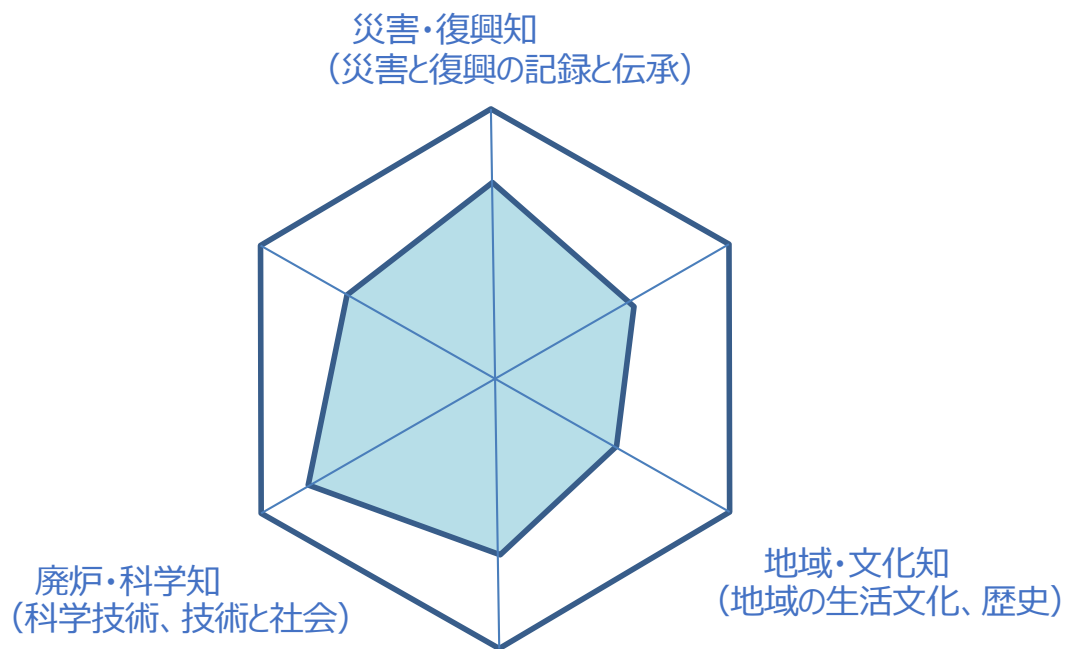


参加者編 (1:50)

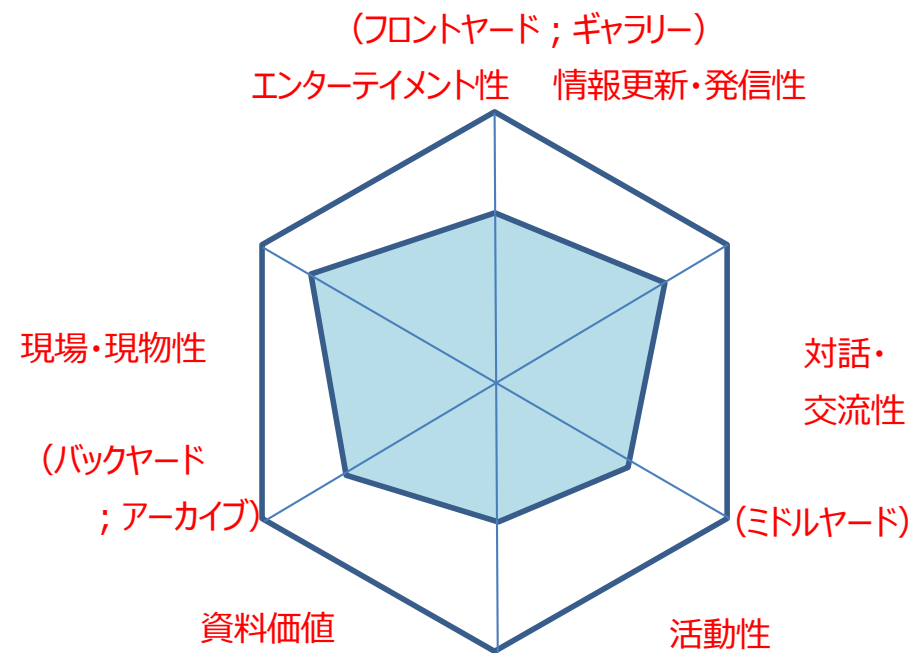


アウトプットイメージ（想定されるカテゴリー）

テーマカテゴリーチャート



ミュージアム特性チャート



テーマ
網羅型

複数のテーマ・単独のテーマ

テーマ
特化型

詳細調査カルテ（記述式）

展示の特徴

特筆する事項

語るということをどう位置づけているか
ものから考えてもらう方針もある
何を思いどう進化したいのか
これまでの見直しとやりたいこと
コラボレーションの意図が見えるといい
ビデオと語り部（個人的）
どこに力を発揮したいか

テーマ・メッセージ・教訓

資料の特徴

関連する施設

設立の経緯（なりたち）

関与する人物

一般情報

- アクセス（車、自転車）
- 対象年齢、多言語対応
- 規模、所要時間
- 料金

ミュージアム特性チャート 評価項目

フロントヤード；ギャラリー

エンターテインメント性

- 展示に工夫があり施設自体に訪れる楽しみがある
- 展示にアート性がある
- 展示などからのメッセージ性が明確であるか

情報更新・発信性

- 企画展などがあり複数回行く価値がある
- コンテンツ管理者が展示物の更新を頻繁に行っている
- 多言語対応や幅広い年齢層に対応した展示の工夫がある

ミドルヤード；

対話・交流

- 展示だけでなくインタラクティブな解説がある
- 展示内容等をもとに対話・交流の場が設定されている

活動性

- 対話や交流から具体的な活動をする場が設定されている

バックヤード；アーカイブ

現場・現物性

- 現物を見て学ぶ価値がある
(ネット等での代替が聞く場合は減点)

資料価値

- 資料としての希少の価値がある
- 現場サイトとしての訪問の価値がある

テーマ網羅性

- テーマを広く捉え体系的に知識を得る方針が明確である
- 体系的な学びのテーマが他の施設にない優位性がある

テーマ特化性

- 特定のテーマに関する施設の方針が明確である
- 特定のテーマに関して他の施設にない優位性がある

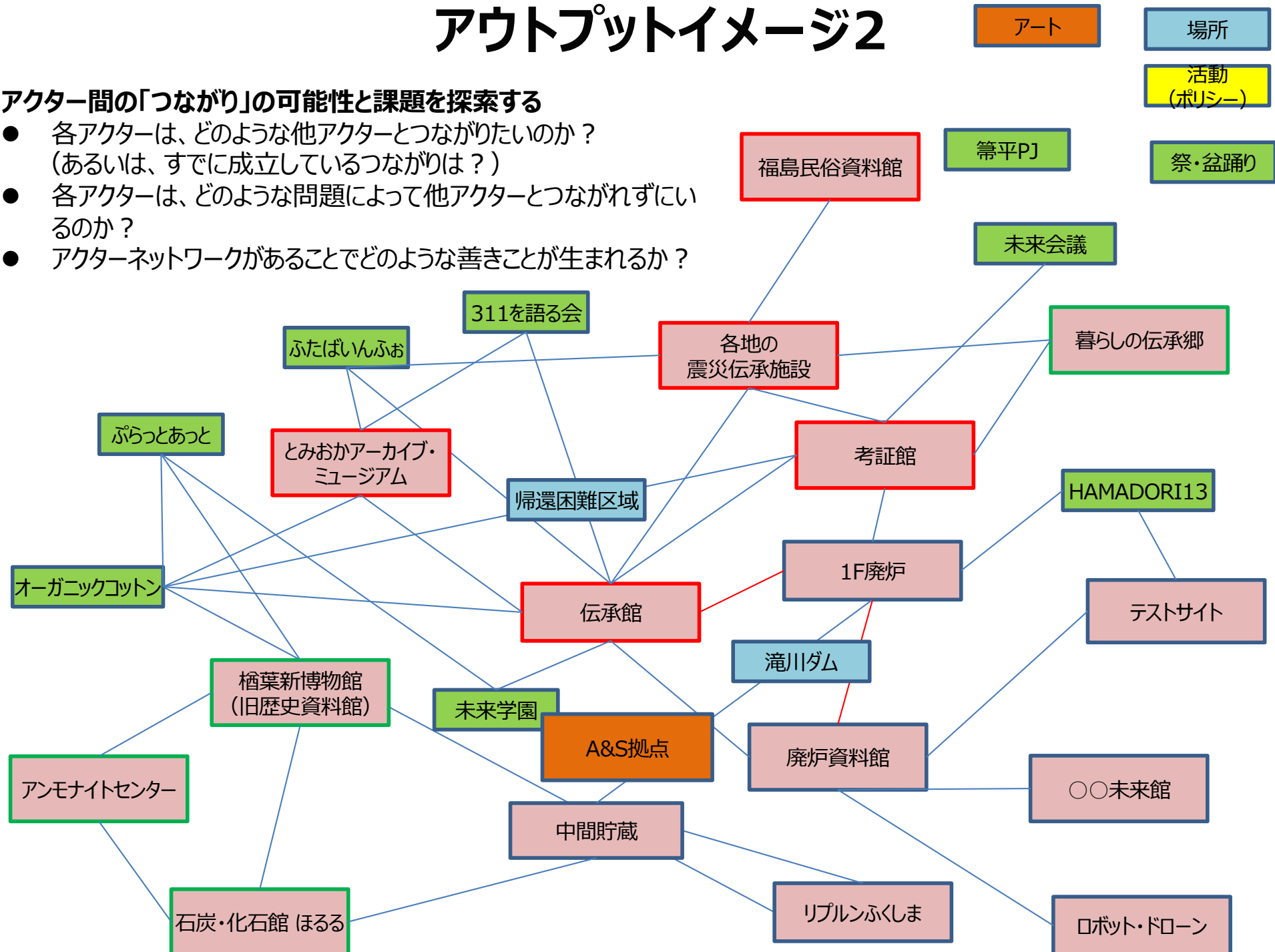
15カテゴリー

- ☐ 震災・原発事故、復興の全体像 ☐ 原発事故の影響 ☐ 津波被害 ☐ 避難指示解除後の地域
- ☐ 帰還困難区域 ☐ 環境回復・除染・中間貯蔵等 ☐ 原発・廃炉 ☐ エネルギー ☐ 農林水産業
- ☐ 新産業(イノベーション・コースト構想)* ☐ 防災・減災 ☐ 教育・人材育成 ☐ 同世代交流
- ☐ 観光・交流 ☐ その他

アウトプットイメージ2

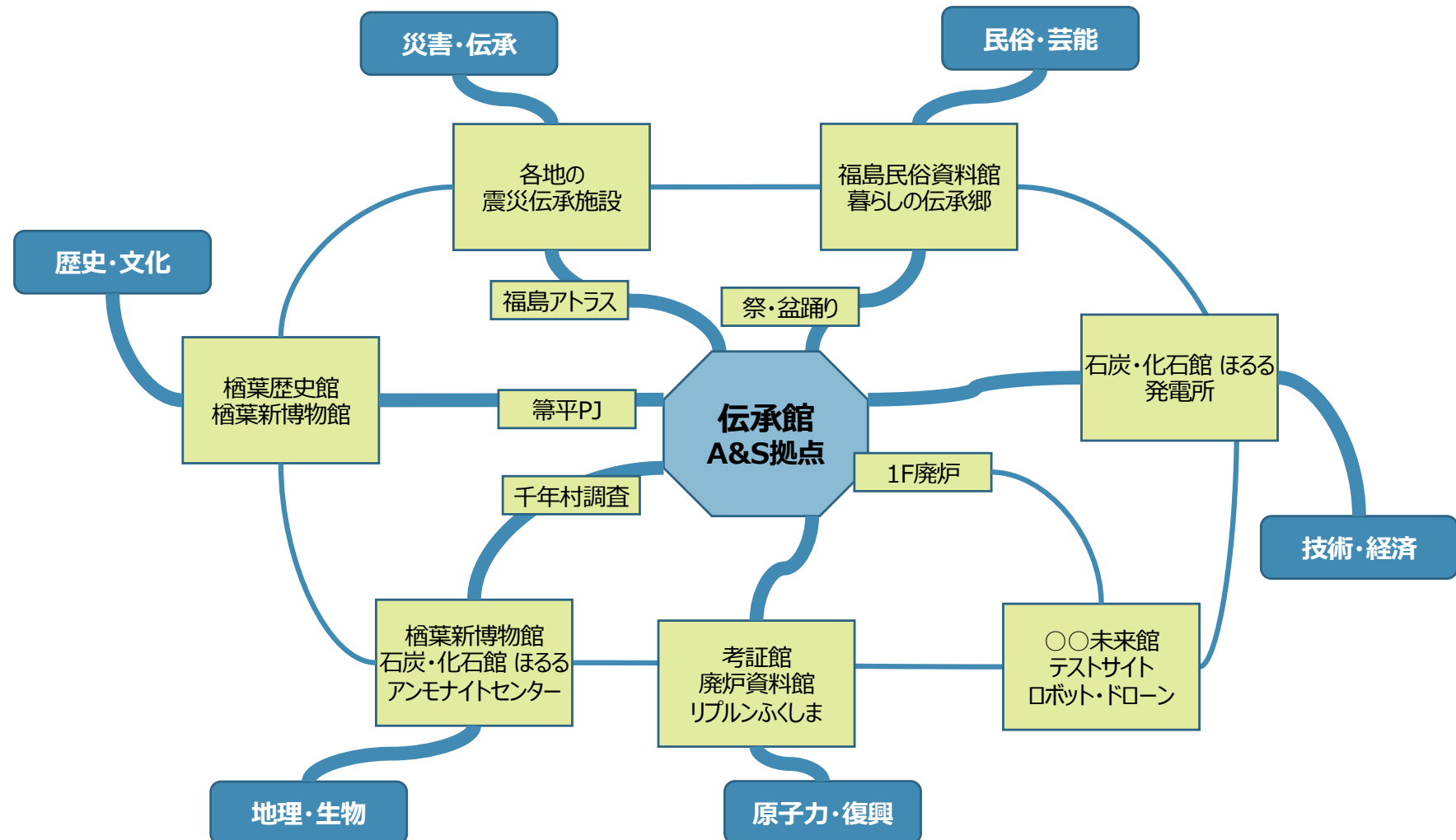
アクター間の「つながり」の可能性と課題を探索する

- 各アクターは、どのような他アクターとつながりたいのか？
(あるいは、すでに成立しているつながりは？)
- 各アクターは、どのような問題によって他アクターとつながれずにいるのか？
- アクターネットワークがあることでどのような善きことが生まれるか？



ディスクバリートレイルの設定イメージ

最終的にはモデルツアーのようなアウトプットも考えるが
これはアウトプットの一形態として考える
教訓の言語化につながる



調査の進め方

